

新潟県公民館月報

昭和33年2月1日(毎月1回1日発行)
発行所 新潟県公民館連絡協議会
(新潟市寄居町・越後自治会館内)
発行人 丸山直一郎
(定価 一部 五円)
二月号 (60号)

公民館強化に対する国の措置はどうか

新年度予算編成の舞台裏を見る

石井 耕一

昭和三十三年度予算の大蔵省原案が示されて、与党との政治折衝がはじまり、各省の復活要求だけなら二月十三日、十四日、公民館関係補助の予算額や公民館に関する法律改正がどのようになっているかについて、関係各方面をまわって見た。

全国町村会

全国町村会は、十二月の理事会の決議に基づき、昭和三十三年度予算編成に際し、政府へ要請書を提出した。そのまゝ先に公民館関係補助二億円に増額、施設費に債権認可等を掲げている。他からこのような理解と協力を要することはありがたいと思いつながら、まず全国町村会館を訪れ、「ここは新潟県町村会の役員や山田事務局長等が集まって、何事か政府へ陳情しつゝ出すところだ」と話した。

文部省社会教育施設課

ここは公民館担当の課で、知っている顔も多い。まず課長に挨拶した後、社会教育施設主任官の平岡事務官、中島後援事務官と懇談する。「公民館関係補助の大蔵省原案では、施設費が七百七十六万円、設備費が一千万円だった。第一次復活で設備費が五百万円追加され合計二千二百七十六万円となったが、今年度の集積もある施設費一千万円、設備費一千八百万円に及ばない。それでも、今年度の原案は等から出発したのだから、今度大蔵省が事務的に当初からそれだけ計上したのは進歩かもしれない」と、中島氏はいう。それにしても、一兆三千億円の中では、雀の涙にも足りない額だ。

この予算獲得の途について、平岡事務官は、「学校教育予算については、全国市長会や町村会、または議長会が、裏に自分のものとして強力を要求する。教育委員会も、もちろん力をいれる。公民館予算についてはきめ手がない。全国市長会はいくらか考えてくれるが、町村会は何もしない。先月の決議や、要求も、実は内部的なこちらの依頼の形で動いているだけだ。社会教育施設課の発表について政治的の圧力になってくれるものがほとんどない。私も事務官が大蔵省からうかがわれるが、交渉し、またいくらかは頼れる人に側面から援助をたのんで、多少やってくる程度だ。」

中島氏「今のところ唯一の力となるものが会連自身身なのだが、もれなくとらざるや、十二月の

理事会、評議員会は参事不足で流れ、専任事務局長も倒れないし、その後、国の予算編成の大切な時期だというのが、会長はじめ役員は顔を見せぬ。会連は、いま一度組織をたて直してたち上らねばならぬのではないか」

文部省社会教育視学室

社会教育全般の事情をみている立場からの話をきくために、社会教育視学室に、二億億馬場視学官を訪ねた。二億氏は二十余年前から旧知なので、突っこんだところまできく。公民館強化につき会連の力は弱いし、他に力になってくれる者がいないというのは、民間事務官の言と一致する。「何と云っても、今のところ、国の財政措置の強化を求めるには、政治家の推進力が必要なのだが、政治家は社会教育を口にしな。今の政治家にその感覚がないといつて、手はずが来ないが、政治家は選挙で出るのだから、政治家を以て社会教育に努力せしめたいのは選挙民だともいわれよう」二億氏はいう。法律改正については「社会教育法の一部改正案を準備中だが、国会に提出は困難なのではないか」という。社会教育施設課では「文部省草案はた今、法制関係の審議中で、国会に提出できるだろう」といつていたのとは、さういふ違ふ。

衆議院議員会館

国会や自民党の動きをみるために、衆議院の議員会館へ行く。ここでは、予算復活要求のため、全国からくり出してきた各種の陳情団が、それぞれ地元出身代議士を頼って集まってきたの部屋にも、廊下にも、人があふれ、屋敷になつても食堂へ入れない。

全国公民館連絡協議会事務局

最後は、赤羽の北区公民館内にある会連事務局を訪ねた。立仙事務局長は不在で、稲村主事に会った。ここでも予算編成の事情はくわかつていて気を配っていた。今日、塩原会連会長が、神宮寺(山梨)三浦(東京)四理事とともに、文部省へ行ったはずだという。会連の専任事務局長に、人事院広報課長の樋上虎二氏を迎えようということにつき、十二月の理事会が流れたので、ただ今、全理事に文書回答を求めているが、回答はさっぱり来ないという。

むすび

このようにして、新年度予算編成の終末まで、各省庁も政府もあわただしい。遺族、傷痍軍人、社会福祉団体等は、数百人が集って緊急大会を開き、代議士たちも数十人出席して激励している。しかるに、公民館強化については、ほとんど動きをみられない。私とき田舎の町の公民館長が、幽好きとも、一人がまわってみたところ、いたすら心細さを感ずるばかりだ。だが、廻ればどこでも快く応待してくれた。こんな実情を、県下公民館関係の皆さんに赤裸々に伝えたい。そんなところではなれないと、多くの人がたちあがりて下さることを期待して、報告記のペンをとおす。

(県公連副会長)

県教育委員会

予算編成に当って談話発表

県教育委員会では、新年度の予算編成に当って、教育委員談話を発表し、その重点として左の項目を列挙し、関係各位の協力を願っている。

- 一、学校教育組織の合理化と施設設備の充実 (説明一略)
- 二、道徳教育の振興 (略)
- 三、科学技術教育の振興 (略)
- 四、産業教育の振興 (略)
- 五、社会教育の振興

社会教育面が弱くは、国民生活の伸張は期しがたい。町村合併後における社会教育行政組織の確立は、目下の急務である。社会教育委員の設置、行政担当職員の確保、指導者の強化と、その研修施設の設置、公民館施設の充実とその活動の促進をはかることが必要である。

- 一、健康教育の充実 (略)
- 二、勤労青少年教育の振興
- 三、勤労青少年の徹底は、もっとも肝要な問題であり、定時制、通信教育の充実ほもとより、青年学級青少年団体の育成、ならびに、その指導者の増強、施設設備の確保が必要である。特に勤労青少年実習訓練施設の設備が重要である。

一、へき地教育の充実
へき地教育の振興に関しては、昨年来特に努力してきたところであるが、本県の地域性からみれば、なお充実が要請される。

庁舎の復興など

要求中の新規事項

- 一、教育庁々舎の復興
大火後二年を経過し、市内の復興は著しいものがある。現在の庁舎は昔の武徳殿で、狭隘且つ執務に不適、県庁との連絡に非常に不便であり、復興費を計上したい。
- 二、すし詰学級の解消 (略)
- 三、産業教育の振興 (略)
- 四、科学技術教育の振興 (略)
- 五、女子教育の振興 (略)
- 六、へき地教育の振興

本年は特に単級、三級複式学級の解消、へき地教育研修のための助成、へき地中学校の理科教育の充実をはかりたい。
へき地社会教育振興として、社会教育研究協議会、部落学級開

一、特殊教育の推進
教職員の強化と研修、護謨教諭の配置、施設設備の充実等は当面の緊急問題である。

- 七、特殊教育の振興 (略)
- 八、学校管理指導行政の重視 (略)
- 九、社会教育の振興

大次後二年を経過し、市内の復興は著しいものがある。現在の庁舎は昔の武徳殿で、狭隘且つ執務に不適、県庁との連絡に非常に不便であり、復興費を計上したい。

要望書全文

社会教育は、学校教育とならんで健全な国民と社会構築の育成に重要な役割を有するものであるが、財政措置の不備等に起因して極めて不十分な状況にある。

社会教育の振興を要望

全国町村会理事会で

全図町村会常任理事会は、去る十二月十一日、全国町村会館において例会、昭和三十三年度予算編成について協議し、左の要望書を提出する事にした。

- 一、公民館等社会教育施設の整備充実
- 二、公民館等社会教育の中心施設を整備、充実のため建築費、設備費等の国庫補助金を大目に

よって、政府はこれが振興充実のため社会教育対策の総合一元化と中支交百千間の連絡調整、ならびに民間社会教育団体の相互連携を要する。

記

一、公民館等社会教育施設の整備充実
一、公民館等社会教育の中心施設を整備、充実のため建築費、設備費等の国庫補助金を大目に

- 二、建設事業費の地方負担分について、起債枠を充実確保すること。
- 三、青年学級運営費補助金の増額
- 四、一学級当りの補助金の増額 (実際所要額一学級当り四万六千円)
- 五、補助対象青年学級を増加 (現在三分の一) し、未補助青年学級を解消すること。

市町村担当職員、団体の指導者、協、運営の合理化等について根本等の研修を実施し、社会教育の対策を確立するとともに、差し当り昭和三十三年度においては、社会教育関係施設の確保と、公民館、青年学級等について、左記事項に協議の上、格段の充実

こんど新潮社からテラックス版で写真集「暮日本」が刊行された。これは渋谷氏の第一集、「雪国」第二集「辺境の町」に続く第三の力作の集成である。暮日本という何か暗いものを感ずる。それは気候・風土の暗さの故であろう。しかしそこには又、激しい自然との闘いから、かち得られた粘り強さ、

体裁はB4版の大形である。矢張りこれ位の大きさがなければ画面の持つ自然の遠感が充分には表現できないであろう。そのため価格も必ずしも一般向きではないが、これは止むを得ないところであろう。

B4 写真70葉、解説13頁、昭和32年10月刊 新潮社 21,000円

写された暮本 第一集 石黒 敬七編 暮本の写真集である。よくもまあこんな珍らしいものを、こんなにも集めたものだと思心する。

著者については多言を要しませんが、今やラジオ、テレビで大活躍の我等の石黒君現である。遠く離れた暮本の姿が眼前にほのぼのする。

写真は全部で二八葉、古い印刷にもすいぶん苦心が伝わっているところであろう。

B5 写真一一〇頁(記事)写真を復写したものであろうが、印刷にもすいぶん苦心が伝わっているところであろう。

昭和32年12月刊、アンカ書房、二二〇〇円 暮日本なのであると。



暮日本写真集 一 渋谷 浩 著

視聴覚教育三十年記念研究大会

一月二十二日、二十四日の三日間、東京都大田区公民館で行われたが、表彰された本県関係者は次の諸氏である。

功 勞 者

○論文教育実践報告入選者
○文部大臣賞
○大田区長賞
○協会賞
○記念大会賞

渡辺 参男 (下越フィルムライブラリー)
山本 本 敬 (小千谷市農業改良普及事業部)
山田 三代吉 (三島町立板町小) 助
松本 十三雄 (新潟市中央公民館) 助

加藤 肇 市 (県社会教育課)
佐藤 勤 (白山小学校)

公民館費は項か目か

—その予算の組方—

公民館費は項に掲げるべきか、目に掲げるべきか、各市町村の様式を見るとマチマチである。一括管理として掲げているところもあるといふ。この問題については本頁第十頁(二十九頁二頁目)

現状と課題

県社会教育課各係から、昨年の事業と反省、今年の構想などについて書いてもらったものを、P.3.4.5.6の各面にのせました。

に行井耕一氏よの執筆願っているから御覧願いたいと思うが、或は既になくした向もあるかも知れないので、ここにその要旨を御紹介する。

先づ結論からいって、石井氏は公民館費は項に掲げるべきだとし

ている。そしてその理由として、地方自治法施行規則の様式によつて、項はその施設別に明示してゐる(公民館費が例示されていないのは、当時は公民館が満足したばかりで、法的根拠のなかつた頃だからである)従つて公民館費、博物館費も施設費であるから、学校費、図書館費等と同じく取扱うべきだ。

二、この規則には当時予見し得る限りの予算種目を例示してあるが、それ以外の款項目的新設を禁止してゐない。

三、図書館数は公民館数に比して遙かに少ない。その少ない図書館費を項とし、多い公民館費を目とするのは適当でない。

四、青年学校を設けている公民館では、その青年学校費を目として掲げることが出来る。

五、公民館費以外の社会教育費(例えば社会教育委員会費、文化、体育等の奨励の経費、部落社会教育修進の経費、民主主体育成の経費等)をどうするかといふこと、これらも狭い意味の社会教育費として、項に併列せしめればよい。(田田)

本年四月以来、要請に応じて多くの青年団に接する機会をえられたが、それらの中で、特に印象に残っているものが三つある。●部内青年の仲間づくりの上から多大の成果を収めた。

●(中魚部川西町野)●村青年団で計画した「共同学習修進」とは、青年団が行事中心の活動に

青年団活動の主体を

学習に

●は、部落内の雰囲気や活動にあきたらない数名の団員が、団活動とは別に「いろいろを組んで身近かに問題や悩みを語らう」という「はた」というグループを作った。ところがそのグループのよき共鳴する者がでて、たんだ仲間が多くなり(グループ活動とはかかものをいう)ついに全部団員が加入し、以後団活動の縁が全くなつてきた。

●は、部落内の活動とそ同活動の主体であるとの考えに立上、これまでの活動を共同学習、問題解決学習に切り替へるため、部落青年団の幹部にその理論と実行指導の機会を提供したもので、昔限ならびに野間の上で、集った青年の真剣な態度が特に印象に残っている。

●は、既に第三回を迎えた研究集会で、二百数十名の参加をえ、

七〇のレポートが提出され、二日間の分科会と総合討議、講演のほかに、夜は分宿をもつたことが、部内青年の仲間づくりの上から多大の成果を収めた。

この三つを通じて考えられることは、青年団が行事中心の活動に頭をもたけてきているが、この動きがとれただけの区がりと、深さをもちて動き出しているか、今後の課題といへよう。

次に青年学校については、年末長岡で主事講師の研究会を開いたが(そのまゝ)



み力を失い、話し合いや学習する面一月月にしてせよ、参加者が腹股しよとする動きがみられることである。このことは理屈のほどもあった。講師としてこれら

た国立教育研究所

●若井氏は、

一 歩 身を引いて、グループ相互の交流によって技術を向上させ、活動を助成しようという所にある。結果は前者については、一部の会場を除いて不満の感もあるが、後者の目的は、出演団体の熱心な協力を、充分達することが出来たと思ふ。青年演劇の進むべき力としての、出演団体の存続と意識について徹底的に追求している真しな態度には敬服する。この探求心を反形して、昨年十二月一日、中越地区演劇協議会が参加二〇団体の練習をその主目的として発足した。この備しが簡潔な組織となつたことはよろこばしい。未だ自然発生的なままに放置してある多くの団体が、これに準ずる研

の青年を招んでもらいたい

4 知識を知つたよつてでなく、考えるよつてを味あわせても

健康な青少年演劇を

昨年、県下三方所で実施した「青少年演劇普及県内巡回公演」は、広く一般大衆に理解してもらつた機会を提供し、その協力を援助して、本年の最大の目的は、一般大衆からも演劇してもらつて、その発生の意図の交流を本質に包含しながら、映画ほど広く気楽に鑑賞していただけることである。本年の最大の目的は、一「立体」と発展するよう援助しなければならぬ。

さて、本年の最大の目的は、一「立体」と発展するよう援助しなければならぬ。

おこしてゆき、それが共感をよむでふくれよつてゆくような過程をとる必要がある。そのためには甲請開設の重要さを改めて認識することである。こういう活動であれ、学校教育制度が如何に拡充されようが、青年学校は地域社会の中で容認され、勤労青年教育の独自の分野を開拓するべきであらう。(猪股)

幸い、三十三年度も引続き第二回を実施するための重要要求をして、いるので更に関係各位の御協力を、お願いいたします。(高井)

婦人教育は

生活に即して

県内婦人有権者数は昭和三十三年十二月二十日現在七四、四〇七一名で、男子有権者数よりも九万三七七名上まわっている。これらの婦人は公民権を持ち、家庭及び社会の構成要素として重要な責任を持つている人達である。婦人教育はこれを対象として、教育の持つ多様性、特質に応じ、教育上総合的な立場を取って考えなければならぬ。

婦人を対象としての事務は、県関係から見ただけでも各方面から推進されている。
社会教育活動のうち、種々な形態で行われる婦人教育も又年々その広がりを見せていることも注目される。

新聞の婦人欄の拡張、ラジオの婦人向番組の増加、自由に参加出来る婦人集会の増加、各種婦人団体の活発化、企画化からもそれはいえる。

新編の婦人権の拡張、ラジオの婦人向番組の増加、自由に参加出来る婦人集会の増加、各種婦人団体の活発化、企画化からもそれはいえる。

県教委としては、婦人教育施策を限られた予算の中で、重点的に、婦人教育が総合的に立案され、生活に即して自主的な活動が展開されるようにとめる。

- 婦人教育の指導者養成を計る。
- 婦人団体の自覚を高め、運営の合理化をはかる。
- 婦人学級の内容充実、開設促進

以上を挙げて推進して来た。こうした状況の中から、いくつかの問題点を拾って見ると、次のようなものが挙げられる。

- 婦人教育が即婦人団体であるという狭い見方や考え方が未組織婦人に対する社会教育の普及
- 政治教育の不徹底
- 教育施設の不足と、それに伴う利用方法の工夫
- 地教委婦人教育担当者不足
- 各種婦人団体の連絡調整
- 指導者の不足
- 婦人会の性格に対する無理解

P・T・Aは

まがり角に立っているか

P・T・Aは曲がり角に立っているか。本当にまがり角に立っているかどうか。というのが私の疑問である。平直な道に、振出しからまがり角に立って来てもいいが、まがり角にまで歩いてきているのか、疑わしいのだ。

P・T・Aを意味するには、新教育の立場というものが理解されていないならば、新教育を考へる前、先ず民主主義の立場、更にそれを要入れた日本の立場から

文化という言葉は最も古めかしい言葉だが、しかし、その内容は最も新しいものでなければならぬ。感じ方の新しさ、というものはあるにはあるが、事実、皮袋というものが対して地域社会文化といふかに拘わりなく、絶えず新しく醸造する酒でなければならぬと考へる。酒はそのままに飲めぬものだ。いくら酒食にたくさらけたり、裝飾されたビンづめのまふまらしまされ

文化活動を

物まねに終らせるな

肉とならなければならぬ。特種者や好事家特定層を対象とした趣味やアクセサリにとどまっていたはナンセンスだ、といっている。文化振興とか文化活動とかはだか最も大衆的なものでなくてはならず、生活に光をあててくれるものでなければならぬ。

最近、中央文化の対向のように、存在は許さるべきでない。しかも、無理に地方と中央と区別してかかれたならば、われわれは文化陣地の均等化ということをつよくいなければならぬ。文化の疎開ということだ。今年はその方向で、文化活動に刺激をうけ、展開をはからなければならぬ。

文化活動といわれるものま都市だけの手にまかせておいてはならないのだ。まして、都市の文化活動といわれるものの流れを汲むことに地域社会が汲み取って、ほんやく、文化を歩み出まい。県下の公民館活動の中にこうした文化活動が取り入れられ、どうした展開がなされるか。一人一人の期待ではない、か受取れぬのだ。そうした言葉のをいいたい。(坂爪)

P・T・Aは

まがり角に立っているか

今までそうした立場で責任を担ってきた。それが問題なのである。

P・T・Aが当面している諸問題も以上の認識と休符が十分でなければ、曲がり角に立って来てもいいが、まがり角にまで歩いてきているのか、疑わしいのだ。

P・T・Aの本質的性格とかその任の方などは、民間の任意団体であって、口をきくは必要はない、と見なすのか、との見解を述べた。社会教育の福祉とか教育環境とかが関係している。

左のようなゲームがいろいろあります。会のテーマにあってお答え下さい。

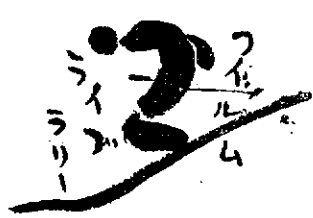
町の政治：勉強するお母さん (新編)

130分、婦人団体、成人団体。この映画は東京都府前にある青年。若夫婦が射撃して自分たちの生活を豊かにすることを相対し、最初反対だったお母さん、だてに生まれて来たお母さんは特別な勉強家に見えるが、こうした夢、いつか同調者になり、畑仕事に多当り育って来ているように思われる。学校の設備の貧しさにたいはやくとて(佐藤) おつき、母親たちが町の予算の研究を始め、それが町民にも

● 牛と金魚 32分、成人、青年団体。瑞穂衛生に熱心な飲食店に無関心な牛も感化されて、清く正しく環境をたのしむようになるという話。瑞穂衛生の知識の普及に役立ようとするもの (新潟)

● 食べものの好き嫌い。13分、給食と栄養。13分、学校一般放人。学校給食をとりあげて、毎日の献立はどんな栄養の組合せにするべきかを示し、食事の正しい習慣、偏食をしないようにすることを説いている。

● こむぎのらくがき 14分、全般的。らくがきが動き出す。こむぎのらくがき、マイクのものに美しい絵で描き出された、こむぎのらくがきの奔放な動きが、何まで、心のこもったおどろきの言葉と共に夢のように、この祭式のように人々は世界を展開してゆく。



● 義理の乗取 30分、成人、青年。農村向き映画として好評。村の旧家の年寄りがなくなった山林を売って世間が納得する。さびしい絵で描き出された、こむぎのらくがきの奔放な動きが、何まで、心のこもったおどろきの言葉と共に夢のように、この祭式のように人々は世界を展開してゆく。

視聴覚教育実践の場で

求められる自主的な意欲

お忘れになった方も多しことと思いますが、たしか昭和三十年九月直江津市で県公民館大会が開かれた折、私は「社会教育のための新潟県録音教材センター設置趣意書」というパンフレットを会場で配布して、一つの提案をしたことがあります。

県の超短波放送の副次的な所産として、放送内容を録音テープに固定し、社会教育の教材として利用する組織をつくることについて、意見を申し上げたのであります。

しかし、毎日電波にのせている教育放送の内容には、社会教育の各領域の活動に大変お役に立つと思われる珠玉のような教材があることを考える、これを消去するにしのびない気持で、ばいなのであります。予算がないからと放棄することは出来ませんでした。

昭和三十一年三月から翌年二月にかけて、約八〇〇本の録音教材を固定し、各公民館にその目録第一集、第二集をお届けして御利用願うところまで辿りついた次第であります。

勿論、その経費には苦勞も申しましたし、またマザー・テープの確保のためには、常時放送用のテープも投入し、各地区視聴覚ライブラリーの構築によるフィルム購入

昭和三十一年年度の県予算要求には、録音教材センター運営費として九〇万円を計上しましたが、金額削減されて、賜の目を導き終るに至りました。

を節約して貰うなら、少ないフィルム充塞を益々窮乏にする迷惑をかけた訳であります。

しかし、この結果昭和三十一年度予算では、不十分な三〇万円、録音教材との結びつき、教材の確保、近頃の経費が計上され、ようの努力は、今、教育現場の現場の、やべこの仕事も、認知されるようになりまして、

近約四〇〇本の追加目録を出したいと思っておりますが、これまた全く経費がないため協力者を探ねてい

子と遊び夫とかなり妻の春の杖まだかひがひし初詣恋人の母が読手やかるた会初夢の思ひ出せねどよきめざめ輪を切りて膨る、柴や初かまど手塚唄かなしきことを美しく

(虚子編歳時記より)

静雲 公結 竜男 恒礼子 羊史 虚子

中から生れ出で、粒々辛苦の中に育ってきた教育活動であったことを思い出すのであります。

県の教育行政に視聴覚教育が実質的に位置付けられたことは、多分待望願った喜びであることはいふまでもありませんが、しかし今

年記念の年といわれています。県もなお、教育実践の中で求めようとする態度の中には、教育者自らの問題として築いていく自主的な意欲が失われてはならないと思ひます。学校教育の現場では、現在教師自らの工夫と協力と創意の中で、視聴覚教育の組織化が維持されています。勿論教育行政の一環としてこの多年の教師の努力を認め位置付けて欲しいと思ひますが、それと同時に、

学校教育と社会教育の密接に連絡のとれているところ、体育活動のすばらしく振興しているところを、なほ体育指導を地区的に分担し、各市町村の体育活動の指導助言の要請により、県がその旅費を支給して派遣する体育振興員を命じている。体育指導委員制度が、全国的に実施されて二年目を迎えるわけであるが、各市町村では、体育指導委員の身分の確立と費用弁償についての重要問題について、一層の協力を願いたいのであります。

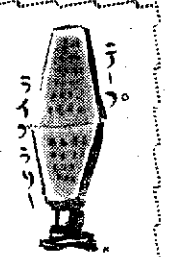
「諸外国の政治」 講演 1-2-1
「選挙区とは」 対談 朝日新聞 関口 泰
自治庁 選挙部長 「わたくしだけの一票」 講演 選挙区の性質とその利害得失について正しい理解と知識を与える。

二年目を迎える 体育指導委員制度

文部省では、昭和三十三年度に関与し、その活発な活動をおおいて、ひつと全国におけるスポーツの指導組織を確立し、指導者の活動を促進するたため、体育指導委員を全国市町村に設置した。この委員数は、全国で二万人を数え、本県では、五百二名を県並方教育委員会と綿密な連絡ができることを推進の第一条件として依頼した。県主催の研修会を設定しては、社会教育活動の

昭和三十一年度の県予算要求には、録音教材センター運営費として九〇万円を計上しましたが、金額削減されて、賜の目を導き終るに至りました。

「選挙の三パン」 評論家 亀井勝一郎
朝日・毎日 政治記者 県庁内教育放送室 電話九七六六番



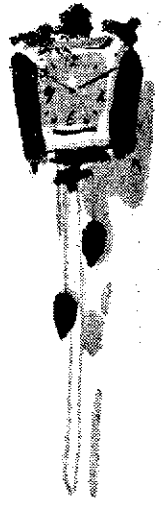
「選挙の三パン」 座談 評論家 山浦貫一
選挙事務局長 安積 得
戸塚文字 選挙運動についての座談

「私塾の政治」 講演 1-1-1
お茶の水女子大学長 嶺山政道
政治形態としての民主主義について、主として国家の立場から見を講ずる。

「諸外国の政治」 講演 1-2-1
東大教授 宮沢俊義
諸外国の選挙と政治形態について、特色を述べ、我が国と比較する。

「選挙の三パン」 講演 1-1-1
東大教授 日高六郎
農村などの感情に促われ易い投票心理を分析紹介する。

「選挙の三パン」 講演 1-1-1
東大教授 日高六郎
農村などの感情に促われ易い投票心理を分析紹介する。



民俗のうつろい

桑取村の小正月から

宮 栄 二

毎年二月がくると、きまつて桑取の山村を思い出す。十年程前、高田に疎開していた桑取港さんから、そのホウ大な絵巻写真を見せられて、市河信次さんから、その生活の話も聞きかきかせてもらった頃は、いかにもめづらしい習俗がよく伝わったものだと思いましたが、われわれとは、現代とは何か違ひを感じられる感じがした。それが昭和二十九年にはじめて全国に残存する正月行事を、国が記録作成の対象として、一クシ、助成の措置を講ずべき代表的類例として本県桑取村を選定するにおよんで、再三に亘るをふみ入れるようになったり、わづかに十二戸の郷土の人々となつたり、じみになった頃、ようやく記録も映画も完成した。そして以来二月になると、必ずこの村を思い出すのである。

どの一連の行事が人々のくらしの中に生々伝はつて来た。一モチの花かざりでは、大きなセイロにふかした餅がウズにうつされ、待ちかまえた大の男三人の細いキネが、ピストンのようにめまぐるしく上下してつき上ったモチは女の人のちの手に渡され、またたく間にちぎられ、枝もたわな花がつく。一みんなアツというまのあざやかな手きわである。鳥追い、焼草あつめ、ヨメ扱いは何と云つても子を、国が記録作成の対象として、助成の措置を講ずべき代表的類例として本県桑取村を選定するにおよんで、再三に亘るをふみ入れるようになったり、わづかに十二戸の郷土の人々となつたり、じみになった頃、ようやく記録も映画も完成した。そして以来二月になると、必ずこの村を思い出すのである。



外中の例外なだけに、ただのアンででないことがわかる。これこそ平和と豊年をねがう、深い祈りであつた。今日日本中には大正月と小正月、新嘗、旧暦とが重なる合、前後をとりまわつておこなうのである。

お知らせ

昭和三十三年度
県公民館大会は
九月十九、二十日
妙高高原町

で引受ける旨、上越公連より事務局宛に知らせがありました。

これは無形文化財としての小千谷ちぢみなどについても同様で、工業としての美しさの根本原因は全製法、手くひり、いざりばた等こそは指定の絶対条件とするが、それで元のような生産復活をのぞもうとするのではない。流行と共に創製を加へべき点は大いに容る。

されて差支えないのである。茶道に「習は古を専らに、作意は新を専らにする」といふ、先賢のことがあつたが、文化行政の要もこれにつきまよう。それは仲々見定め難い難い難い難いであるが、われわれの文化を活かしもし、又殺しもうする、大事な一線である。(県社会教育課)

寄贈ありがとう

12月21日～1月20日
県公連事務局

- 六日市公民館 長岡市 ながさ東(中里村公民館) 北条大日市公民館 宮内公民館 (北条村公民館) 牧村公民館
- より(宮内公民館) 公民館 安塚町公民館 安塚町公民館
- より(細吉公民館) 館報せきは(安塚町公民館) よしかわ吉川(関原公民館) 日越公民館 町公民館 坂倉辰辰飯村公民館
- より(日越公民館) 山本たより 館 広報大編(大編町公民館)
- (山本公民館) 王寺川公民館 中郷たより(中郷村公民館) の
- (王寺川公民館) たよりの福戸公 うちま(龍生町公民館) 公民館
- 民館報(福戸公民館) 十日町地 あさひ(朝日村公民館) 新堀沢
- 区七重(十日町公民館) 深才(湯沢町公民館) NIKK新聞
- 公民館便り(深才公民館) 公民館の窓(六日市青年会文化)
- 民館たより(自附市中央公民館 新井市連青 板屋新聞、公明選
- 館) 公民館むらかみ(村上市中 拳時報 新生活通信、ユネスコ
- 中央公民館) 広報とちお(板屋 福岡(福岡県公連)新潟県人(東
- 市) いといがわ(桑川市公民館 京新潟県人会部青二エス(西
- 館) そのき(新潟市豊野公民館 浦津青年団) 公民館報(富山
- 館) 広報たかた(高田市 新井 県公連)

手習編成のシースです。困も、みなさんのところでも大受けしょう。

新聞などにも伝えられているように、一般に教育面では、まじしい数字が忘れられたよう、取の残されているようです。

×

本号のへきとくに、石井則登長の中央舞台を助けての生々しいホルタージを載せましたが、いろいろの問題を分せきし直してみる価値は十分にあると見られます。

一月二十七日、県立図書館で、本年初の理事会が開かれますが、そうした点を中心に、十分検討が加えられることになりました。

×

新年号の藤田県社課長の「走れば雨ははれるか」の文中、雨濁の直径二センチメートルは三ミリのあやまりでした。

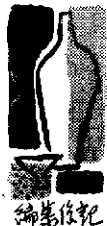
なお、クイズの出題者、不二生は同氏であります。

×

みなさまのおかげで本月報も、毎月一日には送り出せるようになりました。

原稿の締切日は、毎月十五日になつておりますから、今後よろしくお願ひいたします。

×



読者集